

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	2年	2単位	選択
担当教員			
陣内 敦			

講義概要	<p>①保育現場における造形活動の役割を理解する 造形活動による幼児の発達について理解する 造形活動における人間関係の構築について考察する</p> <p>②幼児の造形の目的を理解する 幼児の造形の喜びを理解する 望ましい幼児の造形活動を計画する</p> <p>③造形活動を活性化させる保育者の役割を考察する 年齢に応じた事前準備を理解する 対象児と場に応じた環境構成を理解する</p> <p>④幼児の思考の展開を促す支援内容を理解する 幼児の安全な活動を支える支援方法を理解する 子ども達の状況や発達に望ましい造形活動のあり方を考察する</p> <p>⑤保育教材の役割を理解する 保育教材の考案法を理解する 保育教材を用いた保育実践をおこなう</p>
授業計画	<p>1 はじめに 子どもとの造形活動の意味について</p> <p>学習課題 予習：造形の意味について、自分なりの考えを持つ 復習：造形の意義について確認する</p> <p>2 手づくりおもちゃ① 身近な材料で手づくりおもちゃを制作する</p> <p>学習課題 予習：手づくりおもちゃについてイメージしておく 復習：身近な素材で作れるおもちゃについて発想を広げる</p> <p>3 手づくりおもちゃ②（1） 身近な材料で手づくりおもちゃを制作する</p> <p>学習課題 予習：おもちゃのデザインをイメージしておく 復習：子どもが描くおもちゃの絵柄をイメージしてみる</p> <p>4 手づくりおもちゃ②（2） 手づくりおもちゃを組み立てる おもちゃで遊ぶ</p> <p>学習課題 予習：子どもたちが遊ぶ様子イメージしていく 復習：遊びの展開や安全面について考える</p> <p>5 粘土あそび 土粘土を用いて遊ぶ</p> <p>学習課題 予習：子どもの頃の粘土あそびの様子をイメージしてみる 復習：粘土あそびが与える子どもへの効用について考える</p> <p>6 木のおもちゃ（1） 木片や流木を用いた造形をおこなう</p> <p>学習課題 予習：木の素材でできたものの肌合いを感じる 復習：自然のものから発想していく子どもの想像力について考える</p> <p>7 木のおもちゃ（2） 木片のおもちゃの制作の援助方法について考察する</p> <p>学習課題 予習：自らのおもちゃ作品の組み立て方について構想する 復習：子どもの制作の援助方法について考える</p> <p>8 木片のおもちゃ（3） 木片で自由に遊ぶ子どもの気持ちを理解する</p> <p>学習課題 予習：子どもの発想についてイメージしてみる 復習：子どもの作る喜びについて考える</p> <p>9 絵の具あそび（1） フィンガーペインティングをする</p> <p>学習課題 予習：フィンガーペインティングの意味について考える 復習：フィンガーペインティングの癒しの効用について考える</p> <p>10 絵の具あそび（2） 野菜スタンプでペインティングする</p> <p>学習課題 予習：野菜の切り口がつくる形から作画を空想する 復習：野菜スタンプでペインティングすることによって得られる子どもの発見と喜びを考える</p> <p>11 ダンボールと新聞紙あそび 空間を楽しむ子どもの気持ちになって造形を楽しむ</p> <p>学習課題 予習：ダンボールと新聞紙でどんな遊びができるか想像する 復習：ダンボールと新聞紙のあそびで得られる子どもへの効用について考える</p> <p>12 水あそび 水の冷たさや光を楽しむ子どもの気持ちになって水あそびをする</p>

	<p>学習課題 予習：水あそびの環境構成について考える 復習：水あそびで得られる子どもへの効用について考える</p> <p>1 3 砂あそび 砂の感覚を楽しみながら砂の造形をおこなう</p> <p>学習課題 予習：子どもの頃の砂あそびの体験を思い出す 復習：砂あそびで得られる子どもへの効用について考える</p> <p>1 4 造形ワークショップ運営（1） 学内にて3回、学園祭企画において1回開催する「のびのびワークショップ～つくってあそぼう～」のうち、学生はその1回（2コマ分）に参加し運営に携わる</p> <p>学習課題 予習：保育に携わる心の準備をおこなう 復習：自らの造形支援方法について反省をおこなう</p> <p>1 5 造形ワークショップ運営（2） 学内にて3回、学園祭企画において1回開催する「のびのびワークショップ～つくってあそぼう～」のうち、学生はその1回（2コマ分）に参加し運営に携わる</p> <p>学習課題 予習：保育に携わる心の準備をおこなう 復習：自らの造形支援方法について反省をおこなう</p>
授業形態	演習
評価の観点、評価手段・方法、評価比率	<p>①幼児の造形活動についての重要性を理解する</p> <p>②幼児の造形活動を計画する方法を習得する</p> <p>③幼児の造形活動を支える事前準備と環境構成について理解する</p> <p>④幼児の造形活動に対する保育者の支援内容（指導法）を修得する</p> <p>⑤保育の様々な活動を支える造形の役割を体験する</p>
教科書・参考書	課題ごとに、必要な参考資料を提示。また、手順を解説したプリントを配布。
履修条件	
履修上の注意	
オフィスアワー	授業時間前後に教室で質問を受け付ける。任意に研究室を訪ね質問することも可能である。
備考・メッセージ	課題ごとの材料と道具は、一括購入する物と各自準備する物との別があり、事前連絡に留意すること。また、課題ごとに設けた作品提出期限を厳守すること。